

ありがとう さようなら集会



1年生と6年生の「とんくるりん ばんくるりん」



5年生から「恋ダンス」



にこにこ班から色紙のプレゼント



6年生からお礼のパフォーマンス

庄原の教育

第215号

発行 庄原小学校
庄原幼稚園
平成二十九年三月

今は、「立ち止まる」とき

校長 須田 英典

子ども達の日々の生活を見つめていると、何かに向かって絶えず身体も気持ちも動かし続けている姿が印象に残ります。

話す、書く、見る、聞く、歩く、走る、遊ぶ…。興味あるものに次々と働きかけ、そのことに飽きてしまえば、対象を次々と変えていきます。その姿は、子ども時代の特徴であるということもできましよう。ひとつの対象にじっくり取り組む姿を作り出すことに、私たち大人は苦勞する場合があります。

その一方で、私達大人も「早くしなさい。」という言葉がけに代表される「行動をうながす働きかけ」を、必要に迫られれば子ども達に要求しています。

「立ち止まる」という言葉の意味を、「忘れられている大切な考えや行動を、今の自分に取り入れてみる」と捉えようと、子ども達の活動や生活をより充実したものにするために、ぜひ考えてみたい「立ち止まり」です。

今の子ども達にとって、忘れかけている考えや行動とは、どのような事柄なのでしょう。例えば、次の事柄はどうでしょうか。

- ◆ 見上げる、振り返る等、今までの見方を変えて考える
- ◆ じつと人の話に聞き入る

- ◆ 自分以外のことを考えてみる
- ◆ 今日一日をゆっくり振り返る
- ◆ 家族の一員として働く
- ◆ 深呼吸してみる
- ◆ 履き物を揃える
- ◆ 本の世界に浸り込む

慌ただしい毎日です。ちょっとした立ち止まりが、新しい何かとの出会いや、自分に自信を与える契機になるかもしれません。

山登りの険しい山道では、目線はどうしても苦しい足元の山道へと注ががちです。しかし、途中でしばらく立ち止まってみることで、初めて見えてくる新しい景色は必ずあるものです。

自分のこれまで歩んできた道を振り返ったり、自分が目指そうとしている頂上の姿をあらためて見つめなおしたり、今たどり着いた場所を確かめたりすることは、次に歩き出す一歩に力を与えてくれるはずですよ。

三月という月は、この一年を振り返り、進級・進学という新たなものに向けた準備の時です。卒業生は、小学校六年間を振り返り、中学校生活という新しい世界へ今まさに進んでいこうとしています。今は、少し立ち止まり、次の世界へ飛躍するための力を身体にため込む大切な時です。